



すすんで学ぶ
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和4年2月1日
第630号
枚方市立中宮小学校
校長 池原 義人

「コロナ再拡大、ハイブリッド型授業再開です」

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、1月20日よりハイブリッド型授業を再開することになりました。全ての授業の一律配信ではなく、児童にとって、より学習効果の高いハイブリッド型授業を行うため、授業のオンライン配信と課題配信や実技の後日実施等を組み合わせた形態に変更して実施しています。

また、この間、ご家族（同居人）からの感染や、体調不良をおして登校し早退後感染判明というケースがありました。保護者の皆さまにおかれましては、いま一度、下記内容（枠内）をご確認いただき、引き続き感染拡大防止にご理解・ご協力をお願い致します。

《下記3点に同居者が一人でも該当する場合、登校を控えてください》

- ①体調が悪い（熱がなくても）
 - ②濃厚接触者と指定された
 - ③PCR検査を受検することになった場合（結果が分かるまで）
- Google フォームによる健康観察も忘れず実施してください。

なお、ハイブリッド型授業（オンラインによる授業配信）を長期間継続することによる健康への悪影響や生活の乱れ、学習理解の不足などを大変心配しております。学校といたしましても、できる範囲での対応を検討してまいりますので、保護者の皆さまにおかれましても、家庭でのご指導よろしくお願い致します。

駅伝（心温まる記録会）



12月から練習に取り組んでいた駅伝大会ですが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会が中止となってしまいました。長い距離を走るということで人気がなく、人数集めに苦

労する駅伝大会ですが、本年度は5・6年生たくさんの児童が練習に参加していました。それだからこそ大会中止はとても残念です。

駅伝大会の代替取組として記録会を行いました。選ばれたメンバーでタスキをつなぎ、大会と同じ距離のタイムを計測し他校と競います。本校はたくさんの児童が練習に参加していたこともあり、メンバー以外にもチームを作って走るようになりました。みんなが走り、みんなが応援する記録会、人数が足りないところには先生たちも加わって走りました。12月からの駅伝練習、和やかな雰囲気のか心が温かくなるフィナーレとなりました。

辛いことだと分かっている、苦しいことだと分かっている駅伝練習に参加した子たちには、素晴らしい思い出ができました。そして、いつかきっと役に立つ心の強さが、参加した時間分身に付いたはずです。本当によく頑張りました。

避難訓練（人のための行動を）

1月17日は「防災とボランティアの日」、27年前の1月17日に発生した阪神・淡路大震災で学生を中心としたボランティア活動が活発化したことを機に、ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で制定されました。ボランティア活動の素晴らしさは、自分のもっている力を、人のために使うところにあるのだと思います。中宮の子たちにも、そんな人間になってもらいたいと思っています。

1月26日に火災避難訓練を行いました。ハイブリッド型授業のため、人数が半分くらいのクラスがあったり、学級閉鎖のクラスがあったりする中、実施するか迷いましたが決行しました。命にかかわる取り組みだからこそ、いつもと違う状況だからこそ実施すべきだと判断しました。訓練最後の話は「人のことを考えての行動が大切だ」という内容を、その日から始まった整理整頓集中週間に結びつけて話をしました。

人のことを考えての行動を、身近なところから身に付けてもらいたいと思い、トイレスリッパの話をしました。トイレのスリッパが揃っているのは脱いでいった人の思いやり、それを履いて出ていくときに脱ぎ散らかしているのは「自分さえ良ければいい」という考え方です。自分の履いたスリッパは、使い終わったあと、次に使う人が履きやすいよう揃えて出ていきましょうと伝えました。

教師生活34年の経験から知った変な法則、荒れるクラスは教室が汚い、トラブルの多い生徒の自宅部屋は散らかっている。例の学校の家庭訪問でのこと、ある成績不良生徒の勉強机、座っている椅子の両脇に大きなゴミ袋が口を開け、ゴミが溢れていました。ある不登校生徒の部屋は、入った瞬間、泥棒に荒らされたのでは？と思うほど散らかっていました。自分以外の人のために何かをするどころではありません。全てではないですが法則は確かにあると思っています。ご家庭でも、少しこの話（整理整頓集中週間）に触れていただけるとありがたいです。

